

タイトル (活動概要)	23 いっしょに食べよう	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」⑧ ⑨		
タイミング (実施時期)	学級内のみんなで話ができるようになった時期	活動場所	教室	所要時間	40分(給食指導)
対象学年	幼・小低・小中・ 小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	学級活動(給食)
活動のねらい	〈背景〉友達関係が固定化し、たくさんの仲間とかかわることができなくなっている ・たくさんの友達に声をかけて給食を摂ることを通して、人とかかわることのよさを味わうことができる ・だれとでも分け隔てなくふれあっていこうとする心情を養う				
準備	・一日日記				
学 習 ・ 活 動		教師の支援・留意点等		資料等	
1 導入(朝)					
あまり話したことのない友達を誘っていっしょに給食を食べ、仲良しになろう					
・給食時間までに食べる相手を誘う(誘われる)		・事前に教師が子どもたちの様子をつかんでおき、一人になってしまう子どもが出ないように気を配る			
2 主活動					
会話をしながら相手のことを知りながら食べよう					
・会話を楽しみながら給食を摂る ・片づけ等も分担して行う		・3対3、2対2、1対1というように、学級の実態によって、食べる人数を減らすとより深く知り合える			
3 ふり返り(事後の活動)					
・感想を話す		・運営については給食係等で自主的に運営できるように、助言する ・子どもの活動とすることで、自分たちの学級への意識を高めるようにしたい ・相手について初めて知ったこと等を聞き次回の活動への意欲が高まるようにする ・一日日記等の内容を後日紹介し、今後の活動へとつなげていく		一日日記	
配慮事項		・たくさんの仲間とかかわることができるようにするため、ある程度子どもどうしの人間関係が深まったころに実施する ・学級の係の活動で行うことで、子ども自身が主体的に動くようになる ・同じような方法を、席替えで行うことも考えられる ・曜日を決めて行い、たくさんの友達とふれあえるようにする ・誘う側、誘われる側、共に楽しむことができるような工夫をする ・本活動前に、様々な食べ方(係ランチ、体験学習グループ給食、実行委員ランチ、お見合い給食など)を経験させておくといよい ・集団の高まりなどが表されている日記(※次ページ参照)を紹介し、子どもの学級に対する意識を高める			

月 今日の一言

書いたら一度、読み直しましょう!! 名前()

今月の注目!!

学級目標に向けて、係の活動がんばる。あいさつもいっぱいする。

日	一言 (うれしかった・たのしかった・嬉しかった・もどこうすればよかった・あしたは～するぞ・頭にきた・こんなことおもってるよ・などなど)	先生
1	今日の算数は難しかったけど、友達に教えてもらったおかげで、もうバッチリです。	教えてくれた友達に「ありがとう」だね。
4	先生と子どもたちの簡単な心の交流です。一言でも返事を書いてあげると子どもは喜びます。	
5		
6	今日はお誘い給食でした。初めて〇〇さんとゆっくり話せていろいろなことがわかりました。今度は△△さんとも話してみたいな。	先生も楽しかったよ。次回もいっぱい話したいな。
7		
8		
11		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・その日、1日を簡単にふり返る日記です。 ・帰る前、5分間で書けるくらいの行の幅にします。 ・前ページのプログラムをふり返っているものを、翌日の朝の会で紹介して、子どもたちの意欲を高めます。 	
13		
14		
15		
18		
19		
20		

一言日記を実践することで・・・

- ・子どもの生の声、を引き出すことができる。
- ・現在の学級の状況、一人一人の思いを読み取ることができ、それを翌日からの学級経営に反映することができる。